

年2回の試験実施

地域限定で保育士増を

神奈川県議会議員
民主党・かながわクラブ きしへ 都

この4月、県内の保育所待機児童は625人となり、5年連続で減少しましたが、待機児童解消とはなりませんでした。保育所や認定こども園の整備が進められ、小規模保育事業も開始されことから、保育士の確保が急務になつています。



みなさまからのご意見、
ご要望をお待ちしています

きしへ都政務活動事務所

南区通町2-25-3 千々輪ビル1階

☎045-341-3385

<http://kishibe-miyako.com/>

こしにも努めています。
今回、県は保育士確保策の一つとして国家戦略特区を生かし、「地域限定保育士試験」を今年秋から行うことをとしました。

県は昨年1月、横浜駅西口に「かながわ保育士・保育所支援センター」を開設しました。新卒保育士の方はもとより、「潜在保育士」（資格を持ちながら就業していない保育士）の方も対象に、就職・復職に向けた相談や希望に合った仕事の紹介等を行い、人材の掘り起しはこれまでの全国保育士試験は、8月に筆記試験、10月に実技試験の年1回でしたが、新たに10月に2回目の筆記試験、12月に実技試験を行う予定です。地域限定保育士の合格者は3年間は県内で働き、その後は全国で働くことができる制度で、他に大阪府、沖縄県、成田市でも実施されます。試験を年2回実施することにより、待機児童解消につながるように、また、課題である保育士待遇改善の支援にも取り組んでいきます。